

今後の仕事と家庭の両立支援に関する調査〈企業調査〉

【調査にあたってのお願い】

1. 本調査のとりまとめにあたって、ご協力頂きました企業名は一切公表いたしません。また、ご記入いただいた内容は統計的に処理され、個別の内容を外部に漏らすことは絶対にございませので、貴社の状況をご回答いただきますようお願いいたします。
2. ご返送に当たりますは、同封の返信用封筒（切手は不要です）にて、平成19年12月7日（金）までにご返送頂けますと幸甚に存じます。

【記入上のお願い】

1. 質問に沿って、選択肢に○をつけるか、具体的にご記入ください。
2. 調査は、平成19年11月1日時点でお答えください。

〈調査の内容に関するお問い合わせ先〉

調査実施：(株) ニッセイ基礎研究所

担当：村松（むらまつ）、松浦（まつうら）

電話 03-3512-1783

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-7

〈調査の趣旨に関するお問い合わせ先〉

調査委託：厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 職業家庭両立課

担当：柴沼（しばぬま）、堀（ほり）、宮邊（みやべ）

電話 03-3595-3274

〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2

貴社の育児休業制度についておうかがいします。

育児・介護休業法で定められた育児休業制度は、1歳（一定の要件を満たす場合には1歳半）未満の子を養育する男女労働者が、原則として子1人につき1回取得できる。雇用期間1年以上等の要件を満たす場合には、期間雇用者も育児休業制度の対象となる。

問1 貴社の育児休業制度の内容についておうかがいします。①から④まで、正社員についてお答えください。

① 対象となる子の上限年齢は法律どおりですか。1つお選びください。

1. 法律を上回る

2. 法律どおり

② 育児休業制度の対象者の範囲は法律どおりですか。1つお選びください。

1. 法律を上回る

2. 法律どおり →2ページ③へ

↓
2ページSQ1へ

【対象者の範囲が「1. 法律を上回る」企業におうかがいします。】

SQ1. 次にあげる従業員を育児休業制度の対象としていますか。あてはまるものすべてお選びください。

- | |
|------------------------|
| 1. 配偶者が専業主婦・専業主夫 |
| 2. 配偶者が育児休業中 |
| 3. 所定労働日数が週2日以下の従業員 |
| 4. 勤続1年未満の従業員 |
| 5. 1年以内に退職することが明らかな従業員 |
| 6. その他 () |

③ 子1人について取得可能な休業の回数は、法律どおりですか。1つお選びください。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 法律を上回る | 2. 法律どおり →④へ |
|-----------|--------------|



【休業の回数が「1. 法律を上回る」企業におうかがいします。】

SQ2. 子1人について複数回の育児休業を取得する場合に、どのような要件を設けていますか。あてはまるものすべてお選びください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 育児をしていた配偶者の負傷・疾病等により育児が困難になった |
| 2. 育児をしていた配偶者と別居した |
| 3. 子が保育園等に通えない病気になった |
| 4. 仕事の繁忙に合わせて配偶者と交代で取得する必要がある |
| 5. その他 () |
| 6. 特に取得要件を設けていない |

SQ3. 貴社では、これまでに子1人について育児休業を複数回にわたって取得した人がいますか。1つお選びください。なお、法の定める特別な事情(配偶者の死亡、負傷、疾病、配偶者との別居等)による取得は除外してお考えください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

④ 貴社では、会社や共済会等から、育児休業中の従業員に対して金銭を支給していますか。1つお選びください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 支給している | 2. 支給していない |
|-----------|------------|

問2 貴社の育児休業制度は、期間雇用者も正社員と同様の取扱いとなっていますか。1つお選びください。

- | | | |
|-----------|---------|------------|
| 1. まったく同様 | 2. 一部同様 | 3. 適用していない |
|-----------|---------|------------|

問3 貴社は、育児休業制度の内容、休業中の労働条件(賃金、昇給・昇格、勤続年数への算入等)が、従業員にどの程度認知されていると思いますか。従業員の認知の状況について、従業員のタイプ別にそれぞれ1つお選びください。

	1. よく認知 されている	2. だいたい 認知されて いる	3. あまり 認知されて いない	4. 全く 認知されて いない
A. 制度利用(希望)者	1	2	3	4
B. 管理職	1	2	3	4
C. 上記以外の一般の従業員	1	2	3	4

問4 貴社は育児休業を取得しやすい職場環境にあると思いますか。次の場合別にそれぞれ1つお選びください。休業取得時の支援体制、周囲の理解・協力などのトータルで、取得しやすさをご判断ください。職場によって異なる場合には、全体的に見てどのような職場が多いかでご判断ください。

	1. 取得 しやすい	2. どちらかと いえば取得 しやすい	3. どちらかと いえば取得 しにくい	4. 取得 しにくい
A. 女性が取得する場合	1	2	3	4
B. 共働きの男性が取得する場合	1	2	3	4
C. 妻が専業主婦の男性が取得する場合	1	2	3	4
D. 正社員以外が取得する場合	1	2	3	4
E. 一度復帰した後に同じ子に対して再度取得する場合	1	2	3	4

問5 育児・介護休業法に関するご要望やご意見を自由にご記入ください。

貴社の短時間勤務制度についておうかがいします。

問6 貴社には、育児のための短時間勤務制度(正社員の所定労働時間や所定労働日数を一定期間短縮する制度)がありますか。1つお選びください。なお、労働基準法の育児時間(1日2回30分ずつ)は除きます。

1. 制度(規定)としてある 2. 運用としてある 3. ない →6ページ SQ7 へ

【短時間勤務制度が「1. 制度(規定)としてある」「2. 運用としてある」企業におうかがいします。】

SQ1. 貴社の育児のための短時間勤務制度は、対象となる子が何歳になるまで適用されますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 1歳まで | 5. 小学校3年生まで |
| 2. 1歳半まで | 6. 小学校卒業まで |
| 3. 3歳まで | 7. 中学生以上 |
| 4. 小学校就学前まで | 8. 上限なし |

SQ2. 貴社の育児のための短時間勤務制度の内容について、あてはまるものすべてに○をつけ、短縮可能な時間・日数をご記入ください(○の場合は「0」を記入)。

- | |
|---|
| 1. 1日の所定労働時間を一律に短縮する制度
→1日の所定労働時間()時間中、()時間()分まで短縮可能 |
| 2. 週又は月の所定労働時間を一律に短縮する制度
→週の所定労働時間()時間中、()時間()分まで短縮可能 |
| 3. 週又は月の所定労働日数を一律に短縮する制度(隔日勤務、特定の曜日のみの勤務等)
→週・月(どちらかに○) ()日まで短縮可能 |
| 4. 労働者が個々に勤務しない日、または時間を請求することを認める制度 |

SQ3. 貴社の育児のための短時間勤務制度は、次のようなルール・運用になっていますか。あてはまるものすべてお選びください。利用申請の必要時期については、具体的にご記入ください(○の場合は「0」を記入)。

- | |
|---|
| 1. 制度の利用にあたっては、直属の上司の承認が必要となる |
| 2. 制度の利用にあたっては、利用の必要性を証明するための書類が必要となる |
| 3. 実際利用する1週間以上前に利用申請を行う必要がある
→()カ月()週間()日程度前までに、
利用申請が必要 |
| 4. 会社が制度の利用申請を受け付ける時期や回数に制限がある |
| 5. 職場の業務の状況によっては、制度を利用できないこともある |
| 6. 上記の中にあてはまるものはない |

SQ4. 貴社は、育児のための短時間勤務制度の内容、制度利用中の労働条件(賃金、昇給・昇格の取扱い等)、業務内容・量や職責が、従業員にどの程度認知されていると思いますか。従業員の認知の状況について、従業員のタイプ別にそれぞれ1つお選びください。

	1. よく認知 されている	2. だいたい 認知されて いる	3. あまり 認知されて いない	4. 全く 認知されて いない
A. 制度利用(希望)者	1	2	3	4
B. 管理職	1	2	3	4
C. 上記以外の一般の従業員	1	2	3	4

SQ5. 貴社では、従業員が育児のための短時間勤務制度を利用する場合、短時間勤務をしなかった場合と比べて、次の取扱いが異なりますか。貴社の取扱いに近いものをそれぞれ1つお選びください。

① 業務内容・量や職責

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 短時間勤務をしなかった場合と同様である 2. 短時間勤務をしなかった場合よりは軽減する 3. 現場に任せている 4. その他 () |
|--|

② 業績評価

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 短時間勤務に配慮した目標設定を行い、その達成度で評価する 2. フルタイム勤務者と同じ基準の目標設定を行い、その達成度で評価する 3. 時間当たりの生産性に置き換えて評価する 4. 時間当たりの生産性が同じでも、フルタイム勤務者に配慮して、短時間勤務をしなかった場合よりも低い評価とする 5. その他 () |
|---|

SQ6. 貴社は育児のための短時間勤務制度を利用しやすい職場環境にあると思いますか。制度利用時の支援体制、周囲の理解・協力などのトータルで、利用しやすさをご判断ください。職場によって異なる場合には、全体的に見てどのような職場が多いかでご判断ください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用しやすい 2. どちらかといえば利用しやすい 3. どちらかといえば利用しにくい 4. 利用しにくい |
|--|

→6ページ問7へ

【短時間勤務制度が「3. ない」企業におうかがいします。】

SQ7. 貴社が育児のための短時間勤務制度を導入していないのはなぜですか。あてはまるものすべてお選びください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 育児中の人等、制度の対象となる従業員が少ない |
| 2. 制度の対象となる従業員はいるが、短時間勤務のニーズがない |
| 3. 他の従業員の負荷が高まる |
| 4. 短時間勤務になじまない業務が多い |
| 5. 短時間勤務を認めると勤務管理が煩雑になる |
| 6. その他 () |

【すべての企業におうかがいします。】

問7 貴社は、育児以外の事由で短時間勤務を認めていますか。育児以外のための短時間勤務制度の適用事由について、あてはまるものすべてお選びください。

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 介護 | 4. 適用事由に制限はない |
| 2. 子どもの看護 | 5. 短時間勤務を認めていない |
| 3. その他 () | |

問8 貴社では、短時間勤務制度を今後どのようにしたいとお考えですか。1つお選びください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 現状どおりでよい | 3. 既存の制度を縮小・廃止したい |
| 2. 既存の制度を充実したい | 4. 新たに導入したい |

問9 貴社では、次にあげる職種について、短時間勤務制度が導入できると思いますか。制度の有無に関わらず、それぞれの職種について、貴社の状況に近いものを1つお選びください。

	1. 導入 できる	2. ほとんど 導入 できる	3. 一部 導入 できる	4. 導入 できない	5. 該当する 職種が ない
A. 専門・技術職	1	2	3	4	5
B. 管理職	1	2	3	4	5
C. 事務職	1	2	3	4	5
D. 営業職	1	2	3	4	5
E. 販売職	1	2	3	4	5
F. サービス職	1	2	3	4	5
G. 生産・技能職	1	2	3	4	5

貴社の在宅勤務制度についておうかがいします。

問10 貴社には、育児のための在宅勤務制度(正社員に対して、所定労働日の一部または全部について、自宅で勤務することを認める制度)がありますか。1つお選びください。

1. 制度(規定)としてある 2. 運用としてある 3. ない →8ページ SQ5へ

【在宅勤務制度が「1. 制度(規定)としてある」「2. 運用としてある」企業におうかがいします。】

SQ1. 貴社の育児のための在宅勤務制度は、対象となる子が何歳になるまで適用されますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 1歳まで | 5. 小学校3年生まで |
| 2. 1歳半まで | 6. 小学校卒業まで |
| 3. 3歳まで | 7. 中学生以上 |
| 4. 小学校就学前まで | 8. 上限なし |

SQ2. 育児のための在宅勤務制度の適用について何らかの制限を設けていますか。あてはまるものすべてお選びください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 勤続年数 | 6. 職場の場所(通勤時間) |
| 2. 職種 | 7. 上司の承認 |
| 3. 職務能力 | 8. その他() |
| 4. 業務で取扱っている情報の種類 | 9. 特に制限を設けていない |
| 5. 自宅の通信環境 | |

SQ3. 育児のための在宅勤務制度の在宅勤務日数についておうかがいします。それぞれ1つお選びください。

① 在宅勤務を認める上限日数(週あたり)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 1日未満(月3日等) | 4. 5日以上・上限なし |
| 2. 1～2日 | 5. 個別に上限を決定する |
| 3. 3～4日 | |

② 在宅勤務者の平均的な在宅勤務日数(週あたり)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 1日未満(月3日等) | 4. 5日以上 |
| 2. 1～2日 | 5. 把握していない |
| 3. 3～4日 | 6. 在宅勤務者がいない |

③ 業務遂行上、最適だと考えられる在宅勤務日数(週あたり)

- | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|----------|
| 1. 業務遂行上、在宅勤務日がない方が望ましい | 2. 1～2日 | 3. 3～4日 | 4. 5日以上 | 5. わからない |
|-------------------------|---------|---------|---------|----------|

SQ4. 貴社では、従業員が育児のための在宅勤務制度を利用する場合、在宅勤務をしなかった場合と比べて、次の取扱いが異なりますか。異なるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------|--------------|
| 1. 業務内容 | 5. 昇給・昇格の取扱い |
| 2. 業務量 | 6. 業績評価の取扱い |
| 3. 職責 | 7. その他 () |
| 4. 賃金 | 8. 異なる取扱いはない |

→問 11 へ

【在宅勤務制度が「3. ない」企業におうかがいします。】

SQ5. 貴社が育児のための在宅勤務制度を導入していないのはなぜですか。あてはまるものすべてお選びください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 育児中の人等、制度の対象となる従業員が少ない |
| 2. 制度の対象となる従業員はいるが、在宅勤務のニーズがない |
| 3. 他の従業員の負担が高まる |
| 4. 在宅勤務になじまない業務が多い |
| 5. 在宅勤務を認めると勤務管理が煩雑になる |
| 6. その他 () |

【すべての企業におうかがいします。】

問11 貴社は、育児以外の事由で在宅勤務を認めていますか。育児以外のための在宅勤務制度の適用事由について、あてはまるものすべてお選びください。

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 介護 | 4. 適用事由に制限はない |
| 2. 子どもの看護 | 5. 在宅勤務を認めていない |
| 3. その他 () | |

問12 貴社では、在宅勤務制度を今後どのようにしたいとお考えですか。1つお選びください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 現状どおりでよい | 3. 既存の制度を縮小・廃止したい |
| 2. 既存の制度を充実したい | 4. 新たに導入したい |

問13 貴社では、次あげる職種について、在宅勤務制度が導入できると思いますか。制度の有無に関わらず、それぞれの職種について、貴社の状況に近いものを1つお選びください。

	1. 導入 できる	2. ほとんど 導入できる	3. 一部 導入できる	4. 導入 できない	5. 該当する 職種がない
A. 専門・技術職	1	2	3	4	5
B. 管理職	1	2	3	4	5
C. 事務職	1	2	3	4	5
D. 営業職	1	2	3	4	5
E. 販売職	1	2	3	4	5
F. サービス職	1	2	3	4	5
G. 生産・技能職	1	2	3	4	5

貴社の再雇用制度についておうかがいします。

問14 貴社には、妊娠、出産、育児、介護を理由として退職した者を、再雇用する(正社員以外での雇用も含む)制度がありますか。1つお選びください。グループ企業による再雇用は除外してお考えください。

- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| 1. 制度(規定)としてある | 2. 運用としてある | 3. ない →問15へ |
|----------------|------------|-------------|

【再雇用制度が「1. 制度(規定)としてある」「2. 運用としてある」企業におうかがいします。】

SQ1. 再雇用制度の適用について何らかの制限を設けていますか。あてはまるものすべてお選びください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 在職中の勤続年数 | 5. 退職から再雇用までの期間 |
| 2. 在職中の職種 | 6. 再雇用時の職務能力 |
| 3. 在職中の職務能力 | 7. その他() |
| 4. 再雇用時の年齢 | 8. 特に制限を設けていない |

SQ2. 再雇用時にはどのような労働条件になりますか。貴社の実態に近いものをそれぞれ1つお選びください。

① 雇用形態

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 最初から正社員 | 3. 正社員以外 |
| 2. 一定の就業期間を経てから正社員 | 4. 状況による |

② 給与水準

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 新入社員程度 | 3. 在職経験に配慮した水準 |
| 2. 中途採用者と同程度の水準 | 4. 状況による |

SQ3. 貴社が再雇用制度を導入したのはなぜですか。あてはまるものすべてお選びください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 労働力不足への対応 | 4. 現在の従業員のニーズへの対応 |
| 2. 在職経験による知識やスキルの活用 | 5. 育児休業等の代替要員確保 |
| 3. 元従業員の就労ニーズへの対応 | 6. その他() |

SQ4. 貴社では、再雇用制度の登録者のうち、何割程度を実際に再雇用していますか。貴社のここ3年程度の状況に近いものを1つお選びください。

- | | |
|------------------------|----------|
| 1. 登録はあるが、実際再雇用した人はいない | 4. 3～4割 |
| 2. 1割に満たない | 5. 5割以上 |
| 3. 1～2割 | 6. 登録がない |

【すべての企業におうかがいします。】

問15 貴社では、再雇用制度を今後どのようにしたいとお考えですか。1つお選びください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 現状どおりでよい | 3. 既存の制度を縮小・廃止したい |
| 2. 既存の制度を充実したい | 4. 新たに導入したい |

貴社におけるその他の柔軟な働き方等についておうかがいします。

問16 貴社では、次のような、育児のために働き方を柔軟にできるような制度等を導入していますか。導入しているものすべてお選びください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 深夜業の免除 | 6. 企業内託児施設 |
| 2. 時間外労働の制限 | 7. 育児期の転勤への配慮 |
| 3. フレックスタイム制 | 8. その他 () |
| 4. 始業・就業時刻の繰上げ・繰下げ | 9. 上記のような制度等は導入していない |
| 5. 所定外労働をさせない制度 | |

貴社の男性の育児参加についておうかがいします。

問17 企業が男性の育児参加促進に取り組むことに関して、お考えに近いものはどれですか。1つお選びください。

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1. もっと積極的に取り組む必要がある | } 11 ページ
→ F1 へ |
| 2. 将来的には必要であるが、現在は時期尚早である | |
| 3. 男性の育児参加の必要性は理解するが、企業として取り組む必要はない | |
| 4. 男性の育児参加を進める必要はない | |
| 5. その他 () | |

【「1. もっと積極的に取り組む必要がある」「2. 将来的には必要であるが、現在は時期尚早である」と回答した企業におうかがいします。】

SQ1. 男性の育児参加促進のための企業の取組みとして、どのような取組みが特に有益だと思いますか。また、貴社では男性の育児参加促進のために、何らかの取組みをしていますか。それぞれあてはまるものすべてお選びください。

	有益	実施・予定
1. 育児休業中に経済的支援を行う	1	1
2. 育児休業について、短期間で複数回の取得を認める	2	2
3. 育児休業について、夫婦同時に取得することを認める	3	3
4. 短時間勤務・在宅勤務等柔軟な働き方を認める	4	4
5. 長時間労働を是正する	5	5
6. 年次有給休暇の取得を促進する	6	6
7. 男性の育児参加が可能となるような人員体制を整える	7	7
8. 男性の育児参加の必要性について管理職の理解を深める	8	8
9. 男性の育児参加の必要性について一般従業員の理解を深める	9	9
10. 男性従業員に対して育児参加に必要な情報を提供する	10	10
11. 女性従業員の夫に対して育児参加に必要な情報を提供する	11	11
12. 上記の中にあてはまるものはない	12	12

最後に、貴社の概要についておうかがいします。

F1. 創業年(西暦でご記入ください)

	年
--	---

F2. 本社所在地(都道府県をご記入ください)

--

F3. 業種

1. 鉱業	8. 金融・保険業
2. 建設業	9. 不動産業
3. 製造業	10. 飲食店、宿泊業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	11. 医療、福祉
5. 情報通信業	12. 教育、学習支援業
6. 運輸業	13. サービス業
7. 卸売・小売業	14. その他 ()

F4. 正社員数(0人の場合は「0」とご記入ください)

男性	女性
人	人

F5. パート労働者等正社員以外の人数、期間雇用者数(0人の場合は「0」とご記入ください)

正社員以外	
	(うち期間雇用者)
人	人

F6. 貴社は、次世代育成支援対策推進法の「一般事業主行動計画」の届出をしましたか。1つお選びください。

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 届出をした | 2. 届出をしていない |
|----------|-------------|

F7. 次世代育成支援対策推進法では、行動計画の目標を達成する等一定の要件を満たせば、都道府県労働局長の認定が受けられ、認定マークを広告、商品等に付けることができます。貴社は、この「認定」を申請する考えがありますか。1つお選びください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. すでに「認定」された | 3. 「認定」を申請する考えがある |
| 2. 「認定」を申請中である | 4. 「認定」を申請する考えはない |

F8 昨年度の正社員1人あたりの年間総実労働時間は平均で何時間ぐらいですか。1つお選びください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 1800 時間未満 | 4. 2000～2100 時間未満 |
| 2. 1800～1900 時間未満 | 5. 2100～2200 時間未満 |
| 3. 1900～2000 時間未満 | 6. 2200 時間以上 |

F9 昨年度の有給休暇取得率はどれぐらいですか。1つお選びください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 30%未満 | 4. 70～90%未満 |
| 2. 30～50%未満 | 5. 90%以上 |
| 3. 50～70%未満 | |

F10 貴社の①従業員の定着状況、②従業員の仕事に対する意欲、③業績は、同業他社と比べてどのような状況でしょうか。それぞれ1つお選びください。

① 従業員の定着状況

- | | | | | |
|-------|---------|---------|---------|-------|
| 1. 高い | 2. やや高い | 3. ほぼ同じ | 4. やや低い | 5. 低い |
|-------|---------|---------|---------|-------|

② 従業員の仕事に対する意欲

- | | | | | |
|-------|---------|---------|---------|-------|
| 1. 高い | 2. やや高い | 3. ほぼ同じ | 4. やや低い | 5. 低い |
|-------|---------|---------|---------|-------|

③ 業績

- | | | | | |
|-------|---------|---------|---------|-------|
| 1. 高い | 2. やや高い | 3. ほぼ同じ | 4. やや低い | 5. 低い |
|-------|---------|---------|---------|-------|

F11 会社全体でみた場合、女性正社員の働き方として、次にあげるどのパターンが多いと思いますか。1つお選びください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 結婚を契機に退職する |
| 2. 妊娠・出産を契機に退職する |
| 3. 出産後、子の年齢が3～4歳となる頃までに退職する |
| 4. 子が3～4歳となってから小学校に入学する頃までに退職する |
| 5. 子を出産しても継続して就業している |
| 6. 妊娠・出産する女性がない |

** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 **

今後の仕事と家庭の両立支援に関する調査〈個人調査〉

【調査にあたってのお願い】

1. ニッセイ基礎研究所では、厚生労働省雇用均等・児童家庭局の委託を受けて、今後の仕事と家庭の両立支援についてアンケート調査を行っております。ご多忙の折誠に恐縮ですが、本調査に是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。
2. 本調査のとりまとめにあたって、ご協力頂きました企業名・個人名は一切公表いたしません。また、ご記入いただいた内容は統計的に処理され、個別の内容を外部に漏らすことは絶対にございませので、ご自身の状況をご回答いただきますようお願いいたします（調査票の右上の番号は、企業データと個人データをつなげて分析するためのものであり、これにより企業や個人が特定されることは一切ありません）。
3. ご返送に当たりましては、同封の返信用封筒（切手は不要です）にて、平成19年12月11日（火）までにご返送頂きますと幸甚に存じます。

【記入上のお願い】

1. 質問に沿って、選択肢に○をつけるか、具体的にご記入ください。
2. 調査は、平成19年11月1日時点でお答えください。

〈調査の内容に関するお問い合わせ先〉

調査実施：(株)ニッセイ基礎研究所

担当：村松（むらまつ）、松浦（まつうら）

電話 03-3512-1783

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-7

〈調査の趣旨に関するお問い合わせ先〉

調査委託：厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 職業家庭両立課

担当：柴沼（しばぬま）、堀（ほり）、宮邊（みやべ）

電話 03-3595-3274

〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2

育児休業についておうかがいします。

育児・介護休業法で定められた育児休業制度は、1歳（一定の要件を満たす場合には1歳半）未満の子を養育する男女労働者が、原則として子1人につき1回取得できる。雇用期間1年以上等の要件を満たす場合には、期間雇用者も育児休業制度の対象となる。

問1 あなたは、現在の勤務先の育児休業について、次の内容をどの程度知っていますか。あなたの状況に近いものを、それぞれ1つお選びください。

	1. よく 知っている	2. だいたい 知っている	3. あまり 知らない	4. 全く 知らない
A. 制度の対象	1	2	3	4
B. 休業期間	1	2	3	4
C. 休業中の賃金、その他の経済的給付	1	2	3	4
D. 休業後の昇給・昇格の取扱い	1	2	3	4
E. 休業期間の勤続年数への算入	1	2	3	4

問2 あなたの現在の勤務先は、育児休業を取得しやすい職場環境にあると思いますか。次の場合別に、あなたの職場の実態に近いものをそれぞれ1つお選びください。休業取得時の支援体制、周囲の理解・協力などのトータルで、取得しやすさをご判断ください。

	1. 取得 しやすい	2. どちらか とえば 取得 しやすい	3. どちらか とえば 取得 しにくい	4. 取得 しにくい
A. 女性が取得する場合	1	2	3	4
B. 共働きの男性が取得する場合	1	2	3	4
C. 妻が専業主婦の男性が取得する場合	1	2	3	4
D. 正社員以外が取得する場合	1	2	3	4
E. 一度復帰した後、同じ子について再度取得する場合	1	2	3	4

問3 あなたは、育児休業制度を利用したことがありますか。あてはまるものすべてお選びください。

1. 現在の勤務先で利用した
2. 以前の勤務先で利用した
3. 利用したことがない

問4 あなたは、育児休業制度を利用したいと思いますか。1つお選びください。

1. 利用したいと思う
2. 利用したいと思わない
3. 利用する必要がない (子がもう大きくなっている・子を持つ予定がない) → 3ページ問5へ
4. わからない

【「1. 利用したいと思う」と回答した方におうかがいします。】

SQ1. 育児休業制度を利用したいと思うのはなぜですか。あてはまるものすべてお選びください。

1. 子どもが小さいうちは、自分で育てたいから
2. 子どもが小さいうちは、育児が大変だから
3. 法律で認められた権利だから
4. 保育園に入れず、休まざるを得ないから
5. 保育園、両親等に預けられる時間が限られており、休まざるを得ないから
6. 休業期間中には、雇用保険から給付金が支給されるから
7. その他 ()
8. わからない

問5 これまで、あなたの身近に育児休業を取得した方がいましたか。1つお選びください。

1. いた	2. いない
-------	--------

問6 育児休業制度では、法の定める特別な事情に該当する場合には、子1人について複数回の育児休業が認められます。あなたは、子1人について複数回の育児休業を認める要件として、次のどれが適切だと思いますか。あてはまるものすべてお選びください。

1. 育児をしていた配偶者の負傷・疾病等により育児が困難になった	
2. 育児をしていた配偶者と別居した	
3. 子が保育園等に通えない病気になった	
4. 仕事の繁忙に合わせて配偶者と交代で取得する必要がある	
5. その他 ()	
6. 特に取得要件を設けず、複数回の育児休業を認めるべきだ	
7. 複数回の育児休業の取得は認めるべきではない	

問7 あなたは、育児休業中の次のような取扱い・制度を知っていますか。それぞれ1つお選びください。

	1. 知っている	2. 知らない
A. 法律上の育児休業中は、社会保険料が免除される	1	2
B. 法律上の育児休業を取得すると、雇用保険から給付金が支給される	1	2

問8 育児・介護休業法に関するご要望やご意見を自由にご記入ください。

短時間勤務についておうかがいします。

問9 現在、あなたの勤務先には、育児のための短時間勤務制度(正社員の所定労働時間や所定労働日数を一定期間短縮する制度)がありますか。なお、労働基準法の育児時間(1日に30分ずつ2回)は除きます。

1. ある	2. ない	3. わからない
↓	↓	
4ページ SQ1 へ	4ページ SQ2 へ	

【短時間勤務制度が「1. ある」と回答した方におうかがいします。】

SQ1. あなたは育児のための短時間勤務制度について、次の内容をどの程度知っていますか。あなたの状況に近いものをそれぞれ1つお選びください。

	1. よく 知っている	2. だいたい 知っている	3. あまり 知らない	4. 全く 知らない
A. 制度の対象(勤続年数、職種、配偶者の状況等による制限の有無)	1	2	3	4
B. 勤務時間、勤務日数	1	2	3	4
C. 利用できる期間	1	2	3	4
D. 制度利用中の賃金、その他の経済的給付	1	2	3	4
E. 制度利用中の昇給・昇格の取扱い	1	2	3	4
F. 業務内容・量や職責の変更の有無	1	2	3	4

SQ2. あなたの現在の勤務先は、育児のための短時間勤務制度を利用しやすい職場環境にあると思いますか。あなたの職場の実態に近いものを1つお選びください。制度利用時の支援体制、周囲の理解・協力などのトータルで、利用しやすさをご判断ください。なお、勤務先に短時間勤務制度がない場合も、あると想定してお選びください。

1. 利用しやすい	→ 5ページ問 10 へ
2. どちらかといえば利用しやすい	
3. どちらかといえば利用しにくい	
4. 利用しにくい	

【「3. どちらかといえば利用しにくい」「4. 利用しにくい」と回答した方におうかがいします。】

SQ3. 利用しにくいと思うのはなぜですか。あてはまるものすべてお選びください。

1. 制度利用に対して上司の理解が得られない
2. 制度利用に対して同僚の協力が得られない
3. 制度利用に対して顧客の理解が得られない
4. 制度の内容や手続きがよくわからない
5. 制度の内容が不十分
6. 制度の手続きが面倒
7. 制度を利用すると賃金が下がる
8. 制度を利用すると昇給・昇格に悪影響を及ぼす懸念がある
9. 制度を利用すると業務遂行に支障が生じる
10. その他 ()

問10 あなたは、育児のための短時間勤務制度を利用したことがありますか。あてはまるものすべてお選びください。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 現在の勤務先で利用した | 3. 利用したことがない |
| 2. 以前の勤務先で利用した | |

問11 あなたは育児のための短時間勤務制度を利用したいと思いますか。勤務先の制度の有無に関わらず、1つお選びください。

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| 1. 現在利用している | |
| 2. 利用したいと思う | |
| 3. 利用したいと思わない | |
| 4. 利用する必要がない (子がもう大きくなっている・子を持つ予定がない) | → 問12へ |
| 5. わからない | |

【「1.現在利用している」「2. 利用したいと思う」と回答した方におうかがいします。】

SQ1. 育児のために、短時間勤務制度を利用している、あるいは利用したいと思うのはなぜですか。あてはまるものすべてお選びください。

- | |
|---|
| 1. 保育園、学童クラブ、両親等に預けられる時間が限られているから |
| 2. 短時間勤務制度を利用すれば、急な残業等を命じられることがなくなるから |
| 3. 勤務時間の短縮分の賃金が減額されることで、早く帰宅することに対して周囲の同僚等の理解を得やすくなると思うから |
| 4. 勤務時間が短縮できる分、子どもと一緒にいられる時間が増えるから |
| 5. 勤務時間が短いため、体力の消耗が少ないから |
| 6. その他 () |
| 7. わからない |

SQ2. 短時間勤務にも、いろいろなパターンが考えられます。次のうち、あなたが育児のために最も利用したいと思う短時間勤務のパターンはどれですか。1つお選びください。

- | |
|--|
| 1. 1週間の所定労働日の全日が短時間勤務 |
| 2. 1週間の所定労働日が、「勤務のない日」と「フルタイム勤務の日」の組合せ |
| 3. 1週間の所定労働日が、「勤務のない日」と「短時間勤務の日」の組合せ |
| 4. 1週間の所定労働日が、「フルタイムの日」と「短時間勤務の日」の組合せ |

問12 あなたのお仕事の内容は、短時間勤務という働き方になじむと思いますか。勤務先の制度の有無に関わらず、あなたのお考えに近いものを1つお選びください。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 非常になじむ | 3. あまりなじまない |
| 2. ややなじむ | 4. まったくなじまない |

在宅勤務についておうかがいします。

問13 現在、あなたの勤務先には育児のための在宅勤務制度(正社員に対して、所定労働日の一部または全部について、自宅で勤務することを認める制度)がありますか。

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

問14 あなたは、育児のための在宅勤務制度を利用したことがありますか。あてはまるものすべてお選びください。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 現在の勤務先で利用した | 3. 利用したことがない |
| 2. 以前の勤務先で利用した | |

問15 あなたは育児のための在宅勤務制度を利用したいと思いませんか。勤務先の制度の有無に関わらず、1つお選びください。

- | | |
|--------------------------------------|--------|
| 1. 現在利用している | |
| 2. 利用したいと思う | |
| 3. 利用したいと思わない | |
| 4. 利用する必要がない(子がもう大きくなっている・子を持つ予定がない) | → 問16へ |
| 5. わからない | |

【「1.現在利用している」「2. 利用したいと思う」と回答した方におうかがいします。】

SQ1. 育児のために、在宅勤務制度を利用している、あるいは利用したいと思うのはなぜですか。あてはまるものすべてお選びください。

- | |
|---|
| 1. 保育園、学童クラブ、両親等に預けられる時間が限られているから |
| 2. 在宅勤務をしている時は、急な残業等を命じられることがなくなるから |
| 3. 在宅勤務の方が周囲の同僚等にあまり気兼ねしなくてすむから |
| 4. 在宅勤務だと、仕事の合間に、家事や保護者会活動等も進めることができるから |
| 5. 在宅勤務だと、子どもと一緒にいながら仕事をするができるから |
| 6. 在宅勤務だと仕事に集中できて、早く仕事が片付けられるから |
| 7. 通勤時間が削減できる分、子どもと一緒にいられる時間が増えるから |
| 8. 通勤がないため、体力の消耗が少ないから |
| 9. その他 () |
| 10. わからない |

問16 あなたのお仕事の内容は、在宅勤務という働き方になじむと思いませんか。勤務先の制度の有無に関わらず、あなたのお考えに近いものを1つお選びください。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 非常になじむ | 3. あまりなじまない |
| 2. ややなじむ | 4. まったくなじまない |

子の看護休暇についておうかがいします。

問17 法律上、小学校就学前の子を養育する労働者は、1年に5日まで子の看護休暇を取得することができます。あなたは、子の看護休暇制度として、どのような制度内容が望ましいと思いますか。あてはまるものすべてお選びください。上限年齢や取得日数については、具体的にご記入ください。

1. 対象となる子の上限年齢を上げるべきだ → () 歳ぐらいまで
2. 取得日数(年5日)を延ばすべきだ → () 日ぐらいまで
3. 複数の子がいる場合は、子1人につき5日ずつ取得できるようにすべきだ
4. 子の看護休暇は有給にすべきだ
5. 子の看護休暇は半日単位でも取得できるようにすべきだ
6. 子の看護休暇は予防接種や検診でも取得できるようにすべきだ
7. 子以外の家族の看護でも取得できるようにすべきだ
8. その他 ()
9. 現在法律で規定されている子の看護休暇制度の内容で十分だ

問18 あなたは子の看護休暇制度を利用したことがありますか。

1. 現在の勤務先で利用した
2. 以前の勤務先で利用した
3. 利用したことがない

育児期の働き方や就業に関するお考えについておうかがいします。

問19 次のような、育児のために働き方を柔軟にできるような制度等が、あなたの勤務先にありますか。また、あなたはこのような制度を利用したことがありますか。現在の勤務先における制度の有無、以前の勤務先を含めた利用経験の有無の双方について、それぞれ1つお選びください。

	現在の勤務先における制度の有無			利用経験の有無		
	1. ある	2. ない	3. わから ない	1. 現在の 勤務先 で利用 した	2. 以前の 勤務先 で利用 した	3. 利用した ことが ない
A. 深夜業の免除	1	2	3	1	2	3
B. 時間外労働の制限	1	2	3	1	2	3
C. フレックスタイム制	1	2	3	1	2	3
D. 始業・就業時刻の繰上げ・繰下げ	1	2	3	1	2	3
E. 所定外労働をさせない制度	1	2	3	1	2	3
F. 企業内託児施設	1	2	3	1	2	3
G. 育児期の転勤への配慮	1	2	3	1	2	3
H. 再雇用制度	1	2	3	1	2	3

問20 あなたは次のような、育児のために働き方を柔軟にできるような制度等を利用したいと思いませんか。勤務先の制度の有無に関わらず、それぞれ1つお選びください。

	1. 現在 利用して いる	2. 利用 したい と思う	3. 利用 したいと 思わない	4. 利用する 必要が ない	5. わから ない
A. 深夜業の免除	1	2	3	4	5
B. 時間外労働の制限	1	2	3	4	5
C. フレックスタイム制	1	2	3	4	5
D. 始業・就業時刻の繰上げ・繰下げ	1	2	3	4	5
E. 所定外労働をさせない制度	1	2	3	4	5
F. 企業内託児施設	1	2	3	4	5
G. 育児期の転勤への配慮	1	2	3	4	5
H. 再雇用制度	—	2	3	4	5

問21 あなたは、子を持つ母親の働き方として、どれが望ましいと思いますか。子どもの年齢ごとに、望ましいと思うものをそれぞれ1つお選びください。

子どもの年齢	1. 残業のある 働き方	2. 残業のない 働き方	3. 短時間勤務	4. 在宅勤務 (部分在宅 も含む)	5. 育児休業	6. 子育てに 専念
A. 1歳まで	1	2	3	4	5	6
B. 1歳半まで	1	2	3	4	5	6
C. 3歳まで	1	2	3	4	5	6
D. 小学校就学前まで	1	2	3	4	5	6
E. 小学校3年生まで	1	2	3	4	5	6
F. 小学校卒業まで	1	2	3	4	5	6
G. 中学校卒業まで	1	2	3	4	5	6
H. 高校卒業まで	1	2	3	4	5	6
I. 短大・大学以上	1	2	3	4	5	6

問22 企業が男性の育児参加促進に取り組むことに関して、あなたのお考えに近いものはどれですか。1つお選びください。

<ul style="list-style-type: none"> 1. もっと積極的に取り組む必要がある 2. 将来的には必要であるが、現在は時期尚早である 3. 男性の育児参加の必要性は理解するが、企業として取り組む必要はない 4. 男性の育児参加を進める必要はない 5. その他 () 	10 ページ F1 へ
--	----------------

↓
10 ページ SQ1 へ

【「1. もっと積極的に取組む必要がある」「2.将来的には必要であるが、現在は時期尚早である」と回答した方におうかがいします。】

SQ1. 男性の育児参加促進のための企業の取組みとして、どのような取組みが特に有益だと思いますか。あてはまるものすべてお選びください。

1. 育児休業中に経済的支援を行う
2. 育児休業について、短期間で複数回の取得を認める
3. 育児休業について、夫婦同時に取得することを認める
4. 短時間勤務・在宅勤務等柔軟な働き方を認める
5. 長時間労働を是正する
6. 年次有給休暇の取得を促進する
7. 男性の育児参加が可能となるような人員体制を整える
8. 男性の育児参加の必要性について管理職の理解を深める
9. 男性の育児参加の必要性について一般従業員の理解を深める
10. 男性従業員に対して育児参加に必要な情報を提供する
11. 女性従業員の夫に対して育児参加に必要な情報を提供する
12. 上記の中にあてはまるものはない

最後に、あなたご自身についておうかがいします。

F1 あなたの年齢は満でいくつですか。11月1日現在でお答えください。

	歳
--	---

F2 あなたの性別を1つお選びください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F3 あなたの就業形態を1つお選びください。

- | | | |
|--------|-------------------------|-------------------------|
| 1. 正社員 | 2. 正社員以外
(雇用期間の定めなし) | 3. 正社員以外
(雇用期間の定めあり) |
|--------|-------------------------|-------------------------|

F4 次のうち、あなたの普段の働き方に近いものを1つお選びください。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 恒常的に残業がある | 3. 基本的には残業がない |
| 2. 忙しい時期には残業がある | |

F5 あなたは現在の勤務先で何年勤めていますか(途中ブランクがある場合は前後を通算)。1つお選びください。

- | | | |
|-----------|-------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 4. 5～10年未満 | 6. 15～20年未満 |
| 2. 1～3年未満 | 5. 10～15年未満 | 7. 20年以上 |
| 3. 3～5年未満 | | |

F6 あなたは、現在どのようなお仕事をなさっていますか。1つお選びください。

1. 専門・技術職	7. 生産・技能職
2. 管理職	8. 保安職
3. 事務職	9. 運輸職
4. 営業職	10. 通信職
5. 販売職	11. その他 ()
6. サービス職	

F7 2005年4月以降、従業員301人以上の企業に、仕事と子育ての両立支援のための行動計画の提出が、次世代育成支援対策推進法により義務づけられました。あなたは、勤務先の行動計画の内容を知っていますか。1つお選びください。

1. 行動計画の内容を知っている
2. 内容は知らないが、勤務先に行動計画があることは知っている
3. 勤務先に行動計画がないことを知っている
4. 勤務先に行動計画があるかどうか知らない

F8 あなたの勤務先は、仕事と家庭の両立支援にどの程度積極的だと思いますか。1つお選びください。

1. 積極的	3. どちらかといえば消極的
2. どちらかといえば積極的	4. 消極的

F9 あなたには配偶者がいらっしゃいますか。1つお選びください。

1. いる	2. いない →12 ページ F10 へ
-------	----------------------



【配偶者が「1. いる」と回答した方におうかがいします。】

F9-1 次のうち、配偶者の働き方の現状に近いものはどれですか。1つお選びください。

1. 恒常的に残業がある	5. 在宅勤務（部分在宅も含む）
2. 忙しい時期には残業がある	6. 育児休業中
3. 基本的には残業がない	7. 専業主婦・専業主夫
4. 短時間勤務	

F10 あなたにはお子様がいらっしゃいますか。1つお選びください。なお、いらっしゃる場合は人数もご記入ください。

1. いる → () 人	2. いない → F11 へ
---------------	----------------



【子どもが「1. いる」と回答した方におうかがいします。】

F10-1 一番末のお子様の年齢は満でいくつですか。11月1日現在でお答えください。

<input type="text"/>	歳
----------------------	---

【末のお子様が小学校就学前の方におうかがいします。】 それ以外の方は F11 へ

F10-2 育児を主にしている人は誰ですか。1つお選びください。

1. あなた	3. あなた又は配偶者の両親
2. あなたの配偶者	4. その他 ()

F10-3 お子様は次のような施設に利用していますか。あてはまるものすべてお選びください。

1. 認可保育園	4. 幼稚園
2. 民間の無認可保育園	5. その他 ()
3. 企業内託児施設	

F10-4 あなたと配偶者以外で、日常的に育児を手伝ってくれる方はいらっしゃいますか。あてはまるものすべてお選びください。

1. あなた又は配偶者の両親	6. 近所の人
2. 親戚	7. 友人
3. 子のきょうだい	8. その他 ()
4. ファミリーサポートの援助会員	9. 手伝ってくれる人はいない
5. 民間のベビーシッター	

F11 世帯の中で一番収入が多い人は誰ですか。1つお選びください。

1. あなた	2. あなたの配偶者	3. 左記以外
--------	------------	---------

＊ ＊ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ＊ ＊